

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.208)

1. 全国安全週間の取り組み

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。令和3年度は『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』をスローガンに掲げ、7月1日(木)～7月7日(水)に実施されました。

豊田PCB処理事業所でも労働災害防止活動の大切さを再確認し、積極的に安全活動に取り組みました。例年は豊田PCB処理事業所で働く全従業員の安全意識の高揚を図ることを目的に安全大会を開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を踏まえ、事業所長と運転会社社長からのメッセージを回覧する形式で実施いたしました。

安全活動としては、『職場4Sの日』を設け、保護具の清掃点検や処理棟で使用する安全靴と靴箱の清掃、職場の不用品の処分など、身の回りの整理整頓に努めました。

また、7月3日に『交通安全の日』として交通安全マナーの啓発、7月4日に『健康管理の日』として家庭での適度な運動やリフレッシュを呼びかけ、7月6日に『健康教室の日』として保健師によるWEB健康講話(快眠について)、最終日の7月7日は、事業所内の安全パトロールを実施しました。



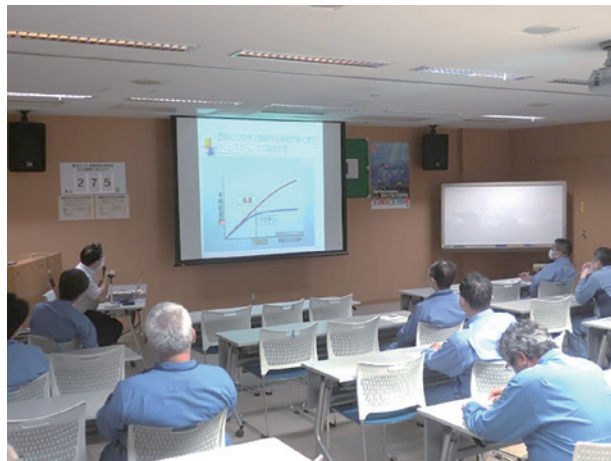
2. 産業医による健康講話を聴く

豊田PCB処理事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的実施しており、本年度第1回目を6月29日(火)に開催しました。

今回のテーマは「新型コロナワクチンについて」でした。ワクチン接種状況やワクチンの効果、接種後の副反応についての講話がありました。

接種後は頭痛や筋肉痛、発熱などの副反応が見られ、特に2回目接種では約半数の人に副反応が見られるとのこと。また高齢者よりも若年者の方が多く副反応が出る傾向にありますが、その多くが数日で回復するそうで安心しました。

日本の接種状況は高齢者から順に始まったばかりですが、早く接種が進むように願っています。



3. 交通安全街頭活動を行いました



7月13日(火)に豊田市 の「夏の交通安全市民運動」に参加しました。

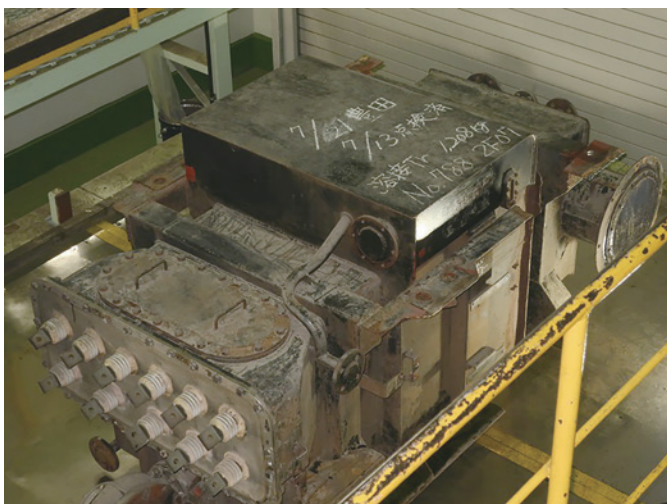
豊田PCB処理事業所からはJESCO、運輸会社の社員約15名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。屋外での活動ですが、3密とならないよう、互いに距離を取りつつ、マスクを着用して実施しました。

4. 車載トランスが搬入されました

7月21日(水)に車載トランスが搬入されました。写真の形状での搬入はこの1台で最後となります。

トランスは変圧器ともいわれ、利用目的に応じて電圧を変えるための機器です。

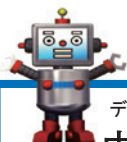
一般的なトランスは工場やビルなどの屋上や地下などに設置されています。



この車載トランスは東海道新幹線の車輻に搭載されていたもので、約3.4トンもあり、非常に堅固に作られています。

今後は、破損などによりそのまま搬入することができずに保管場所で解体された車載トランス2台分の部材の搬入が9月までに行われます。

東海エリアの車載トランスの処理はこれで完了予定です。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

